



ロータリー：  
変化をもたらす



2017-2018 年度

国際ロータリー会長 / イアン H.S. ライズリー 会長 / 佐々木 哲也 副会長 / 小汀 泰之  
2690地区ガバナー / 池上 正 幹事 / 曾田 敏康 会計 / 高砂 明弘

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F  
TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365 / IP : 050-5204-5816  
URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : [office@hirata-rotary.jp](mailto:office@hirata-rotary.jp)  
9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム ■

例会日	卓話者	演題
11月16日	新古美術 神田石雲堂 4代目 神田 慎一様	ホンモノを知りニセモノを知る
11月23日	休会 (祝日)	
11月30日	会員 田中久雄	会員スピーチ
12月7日	ホテル ほり江 18:30~	忘年例会

■出席報告 ■

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前々回補正出席率
42	29	13 (3)	74.36%	— %

■欠席者 ■

大島治 / 河原 / 黒田 / 大谷良 / 加藤 / 石原俊 / 飯塚俊 / 飯塚大内田 / 園山 (山根 / 牧野 / 遠藤)

■来訪者 ■

なし

■メイクアップ ■

11/15 加藤 (出雲南)

■次回例会受付当番 ■

(12月7日) 田中久雄 / 原 孝士 / 原 泰久  
(12月14日) 山口 弥 / 堀江卓男 / 飯塚大幸

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう) ■

月	出雲中央 11/27(-) 12/18 12/25(-) H30.1/22	松江南 12/18 12/25
火	出雲 11/21(-) 12/12 12/26(-) H30.1/2(-)	松江しんじ湖
水	大社 11/22(-) 12/3 12/27(-)	松江 11/22 12/20 12/27 H30.1/3
木	(-) ; ビジター受付 なし	松江東 12/21 12/28(-) H30.1/4(-)
金	出雲南	

■会長挨拶 ■

11月 は ロータリー財団月間です。ロータリー財団の最優先プロジェクトであるポリオ撲滅は、正式名称「ポリオ・プラス」です。ポリオについては何回かお話してきましたが、「プラス」とは何でしょうか。

2011年の「ロータリーの友」を参照しますと、「1985年にロータリーがポリオ・プラスを開始したとき、ポリオ撲滅の取組が、子どもの間に流行する他の5つの感染症(はしか、結核、ジフテリア、百日咳、破傷風)の予防接種にも広がるだろうという考え方を表していました。」と記載されています。ポリオ撲滅は、当初の想定を大きく上回る時間と費用を要してしまっているため、はしか・結核・ジフテリア・百日咳・破傷風の撲滅にはとても手が回る状況ではありませんが、これら5つの予防接種は少なくとも日本では、小児に対して定期接種すなわち無料でおこなわれています。百日咳については、先週の山陰中央新報の記事が載っていました。また破傷風は、土壌に棲息する破傷風菌によって感染し、菌が産生する毒素によって全身の筋肉が丸いれんや麻痺するという致死率の高い病気です。大人になって小児期の免疫力が減弱した後、ある種のケガがきっかけになることもあり、外科医が関わる予防接種でもあります。

少し脱線しますが、破傷風菌の純粋培養などで知られる研究者が「日本細菌学の父」と称される北里柴三郎で、細菌学の発展や予防接種ワクチンの開発に尽力しました。残念ながらノーベル賞受賞には至りませんでしたが、第1回のノーベル生理学・医学賞の最終候補者の1人であったと伝えられています。北里の名称は、北里大学、北里第一三共ワクチン株式会社などに現在も残っています。また、あまり知られていませんが、日本医師会の初代会長であったそうです。

現在気になっていることは、為替レートが円安に向かい、11月のロータリーレートが114円になったことです。ポリオ・プラスへの寄付や来年1月のRI人頭分担金は米ドル払いとなりますので、クラブの財政を考えると、年末に向けて少しでも円高になるといいなと願っています。

■幹事報告 ■

ガバナー事務所より

2017-18年度地区大会のダイジェスト番組が地区内のケーブルテレビ各局において放送されるお知らせがありました。

ひらたCATVは12月放送予定です。放送日決定次第お知らせ致します。

■スマイル ■

佐々木 (神田慎一様、平田ロータリークラブへようこそ。本日のスピーチよろしくお願ひします。)

曾田 (神田様ようこそいらっしゃいました。本日のスピーチ宜しくお願ひ致します。)

11/12(日)夜一畑寺さんの山のフェスティバルに孫を連れて行きました。とても幻想的で感動いたしました。)

大谷厚 (神田慎一様のスピーチを歓迎して。)

三好 (神田石雲堂 神田様、本日はスピーチよろしくお願ひします。)

高砂・来間 (神田様ようこそ。スピーチ楽しみにしています)

持田稔 (神田慎一様、平田ロータリークラブへようこそ。本日はよろしくお願ひします。)

田中浩 (神田様、今日の例会は大変楽しみにしていました。よろしくお願ひ致します。)

小汀 (神田様、本日はようこそおでかけ下さいました。お話、楽しみにしています。)

昨日は紐落し祭の日でした。子供さんにおみきをつくとき、「ちよんぼしね」と言いながらつぎますとやがて泣き出しました。なぜかと問ひ直しますと「ちよんぼはやだ！」ということでした。ほのぼのとしたひと時でした。)

お礼

加藤昇 (先般の葬儀には当クラブより香典、お供えを頂き、又会員の皆様にもご香典又、ご会葬を頂きありがとうございました。)

石原俊 (先般の葬儀には当クラブより香典、お供えを頂き、又会員の皆様にもご香典又、ご会葬を頂きありがとうございました。佐々木会長には代表焼香をいただきありがとうございました。)

## ■ ■ ■ スピーチ・例会行事 ■ ■ ■

### 「ホンモノを知り ニセモノを知る」

新古美術 神田石雲堂  
4代目 神田 慎一 様

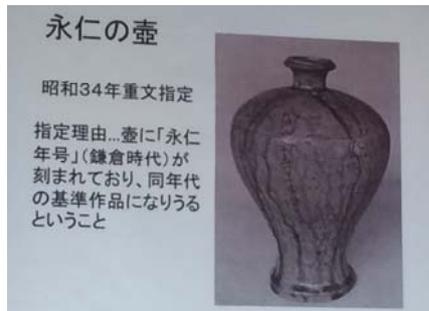


まず、『ニセモノ』についてですが、私たちの日常生活では、お金を儲けるだけの「食品偽装」や「偽ブランド」など、他人を騙す「ニセモノ」の話題に事欠きません。しかし、本来、「ニセモノ」と「ホンモノ」は非常に微妙な関係にあり、「明と暗」「黒と白」といった単純な分け方が出来ない場合も沢山あります。そんな『ニセモノ』は暮らしの中で重要な役割をもち、さまざまな歴史を持っています。また、「ニセモノ」が「ホンモノ」を乗り越え、

文化的な創造性を発揮することもあります。さらに、写し物、模写と呼ばれるものには「ホンモノ」よりむしろ価値が高い場合さえあるのです。

例えば『永仁の壺事件』というものがあります。

昭和34年、「永仁二年」(1294)の銘を持つ瓶子が、鎌倉時代の古瀬戸の傑作であるとして国の重要文化財に指定されました。しかし、その瓶子はニセモノではないかと疑惑がもたれていたその後、陶芸家加藤唐九郎の作ということが判明し、重文指定



解除されました。【指定理由には、壺に「永仁年号」(鎌倉時代)が刻まれており、同年代の基準作品になりうるということがありました。】

ところが・・・皮肉なことに古美術愛好家にとって重要文化財級の作品を作る男として加藤唐九郎の名声は逆に高くなることになり、例えば、加藤唐九郎「茜志野茶碗 銘 稲穂浪」がオークションで落札価格:¥6,000,000 の値がつくようになりました。こんなことがあるのです。ニセモノが本物を越えてしまう...



います。

- ・いつ出会うかわからない古美術を見抜く「眼」
- ・何を自分が求めているのか問い続ける「心」
- ・古美術への出会いを察知する「行動力」

これらを兼ね備えた者こそが数寄者であり、そうであることこそ、ホンモノを知りニセモノを知ることの大切さであると思います。

「皆さんも、良いモノに出会ってください。」

ここで、作品の見方として次の3つを気をつけてください。

1. 作品を見る
2. 作者を見る
3. 付属品を見る

付属品には非常に情報が詰まっている場合があります。非常に大切です。また、作品の違和感を見抜くのも本物とニセモノを見抜くために大切なところ。作為的なデザインはないか、自由さがなくないかなどや、時代付けがしてあのか、共箱の書体がぎこちなくはないか(本物の字体をまねて書き込んでないか)、共箱が粗末である。(本物をしまう箱には、箱自体が特別なものであり、本物が使っています。)

日本人には、独特の美的感覚があります。例えば、アンバランスさ、ひずみ、未完成の良さ桃山時代の大名茶人古田織部好みの美的感覚は、今から400年前「へうげもの」と呼ばれました。しかし織部が好んだ茶道具が今では重文として全国の美術館に所蔵されています。日本人のDNAにはこの美的感覚が生まれながらにして、備わっていると言われて